

「パースで快適シニアライフ」における閉会の挨拶（8月8日）

本ワークショップの共催者として最後にご挨拶を申し上げます。
在パース日本国総領事の内藤康司と申します。

本ワークショップの発起人をされたホーキンス明子さんは沖縄県人会長、TIDA 沖縄ダンスグループ代表としても有名ですが、2019年にホーキンスさんが立ち上げられた在宅介護支援会社ラポルト社は、在宅介護を行う豪州登録の企業で、パースで70-80名の高齢者の方々を支援されております。シドニーにある企業(Japan Total Care 社)に加え、オーストラリア中でわずか2社、パースでは唯一の日系在宅介護支援会社です。

今般、薬局や看護サービスを含め幅広い医療事業を日本で展開されている協和ケミカルの岩田修二会長、岩田裕美子取締役社長、宮本興治取締役をはじめとする方々6名のパース訪問の機会をとらえ、ラポルト社と総領事館の共催で、在留邦人・定住者向けのセミナー「パースで快適シニアライフ」を開催しました。複雑なオーストラリアでの医療システム、介護システムについてはラポルト様から説明し、日本のサービスとシステムについては協和ケミカル様から説明頂くことで、日本とオーストラリアのサービスの違いについて知る貴重な機会であったと思います。

高齢化対策は、在留の定住者・長期滞在の皆様にとって大切な課題です。早めの看護システム加入の重要性、豪州での申請手続きのポイント、申請から認可までの日豪の時間の違い、金銭面、食事のアドバイス、ご家族との関係、環境が変わる際の課題、日本におけるケアマネジャーの大きな役割など、大変有用なセッションであったと思います。

外務省でも在外の日本人の高齢化に伴う様々な課題、孤独の問題について注目しており、情報提供など支援のための方途を模索しているところです。

協和ケミカル様におかれては、オーストラリアでの事業展開も展開されていると伺っておりますので、総領事館としても引き続き各種情報提供等させて頂きたいと思っております。

快適に住み慣れたパースで安心して健康で幸せで暮らすためには具体的にどうしたら良いか、忘れてはいけないことは何か、そんな共通の関心のもとに、有意義なセッションとなり、準備をいただいた全ての皆様にお礼申し上げます。

皆様、本日はご多用な中、ありがとうございました。雨なのですべらないよう、くれぐれも足元に気を付けてお帰り下さい。

以上